



平成二十六年 第二号 お正月発行

賀正

甲午歳元旦



住職 画

平成二十六年の新春を迎え、
謹んで至心に篤い三宝を誦し、
併せて檀信徒各位の
ご平安を祈念申し上げます。

住職	松野 大英
副住職	松野 大樹
筆頭総代	遠山 甚蔵
法類	総代 一同
寺族(住職妻)	後藤 了善
	松野 弘美

修正会

一年の健康と幸せを
お祈りする法要です。

日にち 一月三日(金)
時間 十一時
ところ 当寺本堂

十二時より客殿にて新年会

☆一年の心願成就の
ご祈願の為に、
お札・お守り・絵馬・
おみくじをご用意し
ております。
ご希望の方は、
お申し出下さい。



午歳にちなみ

仏教において「午」に関しては何といつても、馬頭観世音菩薩様が真つ先に浮かびます。

馬頭観音は、六観音の一つにて、六道（地獄・餓鬼・畜生・修羅・人道・天道）のうち、畜生道の救い主とされています。

サンスクリット語ハヤグリーウア「馬の頭をもつもの」の意にて、ヒンズウ教の主神・ウイシュヌの化身にて、宝馬が四方を駆け回つて敵を制圧するように、一切の魔敵を降伏させ、自らは解脱を求めず、娑婆世界にとどまり、馬が草をむさぼり食うように諸悪を駆逐し、衆生の煩惱を喰らいつくすことを使命としています。

他の観音様のお姿とは違い、馬の頭を人頭にいただき、温顔柔和な相ではなく、忿怒（ふんぬ）の相にて、鬼齒をむき、躰は赤い色をして、「父にゲンコツ」という厳しい情のあることを教えています。

鎌倉時代頃より、馬が、重要な交通機関、そして農作業と役割をはたし、大切にあつかわれてまいりました。

実性寺にも、銀杏の木の下に、総代・鈴木幸夫様がお守りする馬頭観音がございます。参詣の折、一度お参りしてください。



馬頭観音

嵯峨面

浄土宗特別寺院・京都嵯峨・

清涼寺に伝わる、

嵯峨狂言に使われた面を

復刻した民芸品です。

古い和紙を使い、

趣のある面です。

客殿の壁面に飾っております。



伏見焼

京都伏見稲荷に

伝わる焼物です。

現在、ただ一軒のみ

残る土物の人形です。

客殿の床の間に飾つ

てあります。



年間行事

一月	三日(金)	修正会
二月	十五日(土)	涅槃会
三月	二十一日(祝)	春季彼岸会回向
四月	八日(火)	花まつり
四月	十二日(土)	実性寺寄席
五月	二十四日(土)	施餓鬼会
六月	吉日	蓮見の会
七月	十三日(日)	七月盂蘭盆会回向
	十六日(水)	送り火
八月	十三日(水)	八月盂蘭盆会回向
	十六日(土)	送り火
九月	二十二日(祝)	秋季彼岸会回向
十月	吉日	実性寺寄席



お檀家・大澤正和様のお母上様より、実性寺境内に咲いた蓮の実に、きれいな布細工を作ってくださいました。毎年たくさん咲く蓮ですが、花の咲いた後もきれいに見れるものと感激いたしました。玄関先に飾らせていただきます。ありがとうございました。

手作り布作品



住職 画



実性寺寄席

第十四回「実性寺寄席」が、十月二十日（日）六時より開催されました。大勢の方にご来寺いただき楽しんでいただきました。総代様、暁月会の皆様のお力添えに感謝申し上げます。

第十五回は、四月十二日（土）に行います。



前座 三遊亭 ふう丈



上方漫談 ナオユキ



柳家 我太楼 師匠



閉門時間の変更

★ 日没時間が早くなりました。閉門時間を変更させて頂きました。

二月末まで

午後四時 閉門

《法要について》

◆ お申し込みは、日時が重なる場合がありますので、お早めにお問い合わせ致します。

◆ お位牌・写真をお持ち下さい。

◆ 清宴を客殿でご希望の場合は、お早めにお問い合わせ致します。

◆ 尚、仕出し料理は、指定出入りのお店がございますのでお問い合わせ下さい。
亡くなられた方への影膳をご用意下さい。

◆ お供物と致しましては、ご本尊様に、生花・果物・お菓子をお供え下さい。
お墓用の生花は、ご本尊様生花とは別にをご用意下さい。

☆ ご法要等のお塔婆を建立される方は、

遅くとも十日前までにお申し込み下さい。

お電話よりファックスの方が正確でございますのでご利用下さい。

ファックス番号

03 (3883) 3227

振替口座

00190-6-258873

振込用紙をご入用の方はお申し出下さい。

〒121-0061

東京都足立区花畑三十七ー十八

電話03 (3883) 8866

浄土宗 実性寺

実性寺のホームページへのアクセスは